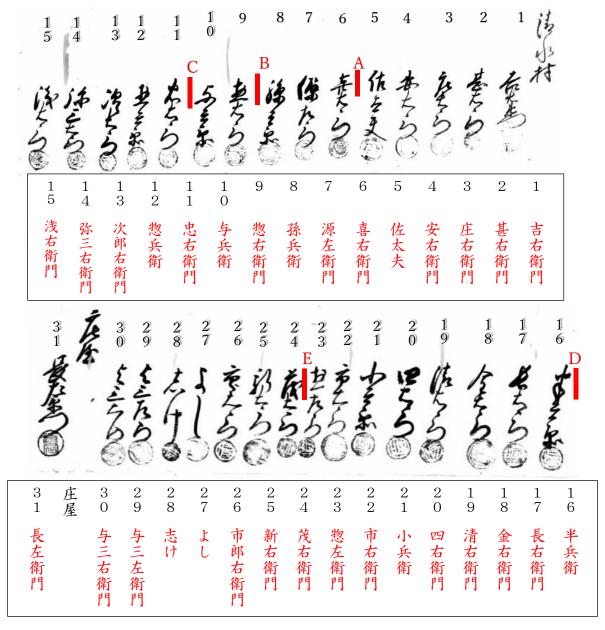
福井県文書館 くずし字入門講座 No.2「人名・地名」第3問 解説と読解例



赤線部Aは「喜」で、くずすと「七」の字を3つ書いたようになります。このくずしが「喜」の異体字「 に」の字源となります。ちなみに77歳を「喜寿」とよぶのは「 に」が「七十七」に類似していることからきています。

赤線部Bは「惣」です。下の部分は横棒のように見えますが、「心」のくずしです。人名以外でも「惣而(そうじて)」「惣百姓」のように使われます。赤線部C「忠」は形からは判断が難しいですね。上下に分解して考えていきましょう。上の部分は「中」です。縦棒がまっすぐ下におりないで、斜め左に流れて下の部分の「心」につながっていきます。

赤線部D「半」は下のほうが丸まっているのが特徴です。我々が「半」書くときは、横棒を二本引いてから最後に縦棒を引きますが、くずし字では縦棒を引いてから横棒を引く場合が多く、「半」の下のほうはこのように丸くなります。

赤線部E「茂」は「くさかんむり」に「戊」です。このように、<u>部首に注目したり漢字を</u> 分解したりすると解読のヒントになることが多いです。